

【2日間】 プログラム内容に関するお問い合わせ：[kaisou@jma.or.jp](mailto:kaisou@jma.or.jp) もしくは **03-3434-1955**

**38**  
アドバンス  
コース

宿泊プラン

講師 船橋 正美  
JMA専任講師

定員 15名  
(1開催1社4名まで)  
開催場所により定員数が  
異なる場合があります。

詳細は  
**JMA 150824** 検索

# 部長のための 未来洞察と シナリオ・プランニングセミナー

## このような方におすすめです

- 部長職の方で部門運営能力に磨きをかけたい方
- 部門内の課題解決の仕組みの構築・提案する力を学びたい方

## ねらい

「創造し続ける組織・事業づくり」を担う部長職が直面する  
**5つの課題の深耕と対応策を集中的に研究します。**

新任部長とは異なり、部長経験の長さにより部門運営の経験  
値に基づき必要とされる資質や能力の向上が求められます。  
マネジメントモデルを習得し、現在の部門運営における「課題  
を発見・整理する力」や「課題解決の仕組みの構築・提案する力」  
を養い、あらたなマネジメント能力向上を醸成します。

## 特長Ⅰ

### 5つの視点から 未来の強い組織・強い事業を考える

5つの視点から強い組織・強い事業づくりに必要な能力を強化します。

## 部長職が直面する5つの課題



## 会期・受講形態(会場)

KFC Hall & Rooms (東京・両国)  
**2023年11月 9日(木)～10日(金)**  
※会場(東京・1泊2日合宿)

**2024年11月 7日(木)～ 8日(金)**  
※会場(東京・1泊2日合宿)  
※2024年度は会場未定(東京での開催を予定)です。



**開催時間** 【1日目】10:00～20:00  
【2日目】9:00～17:00

## 参加料(税込)

日本能率協会法人会員	207,900円／1名
上記会員外	240,900円／1名

※本事業開催最終日の消費税率を適用させていただきます。  
※参加料にはテキスト(資料)費が含まれております。  
※参加料には、研修期間内の食費・宿泊費が含まれます。

## 特長Ⅱ

### プログラムの約40%が講義、 60%がケース研究・ワークショップ

他社の部長職以上の方々とのワー  
クショップにて、相互啓発、研鑽により  
座学だけでは得られない刺激を受け、  
異なる発想に触れます。同じ社会  
現象、ビジネス現象をどう解釈する  
のか。時代・社会の潮流を読み解き、  
視野を拡大します。



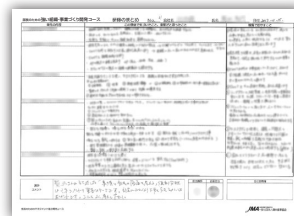
## 特長Ⅲ

### 研修のまとめシートによる 意識・決意の定着化

受講者が、5つの視点毎に、「内省」や  
「気づき」を記入し、意識の定着化を図り  
ます。

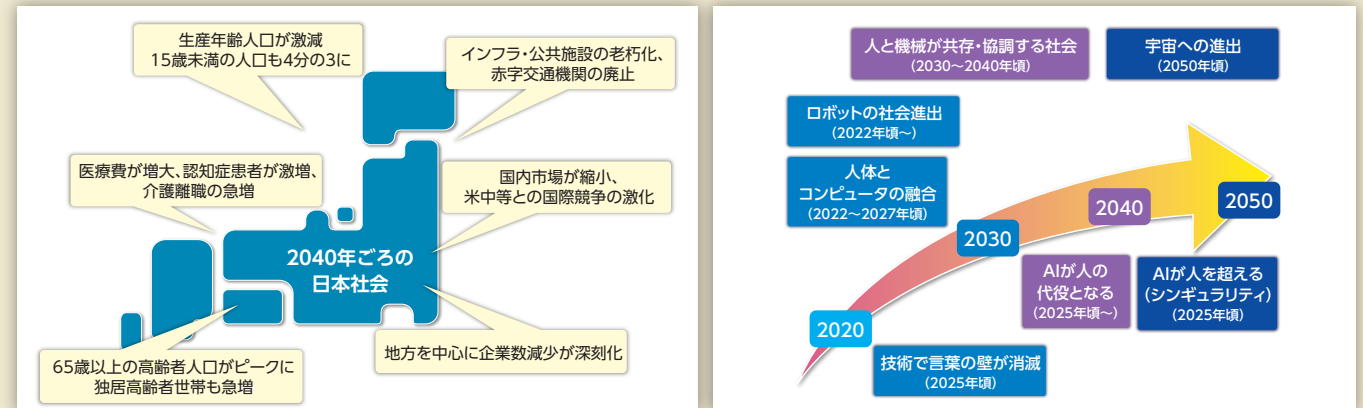
また、「これだけは実行する」との決意  
と計画を描き見える化し、視座も高め  
ます。

人事担当役員・社長への回覧をおすすめ  
します。



ふり返しシート

## — 急激に変わり続ける未来 — 2040 年頃の日本社会 / テクノロジーの今後の見通し



※〈出典〉総務省資料：情報通信審議会 情報通信政策部会 IoT新時代の未来づくり検討委員会

## 自社の業界・顧客だけを見ていませんか？

これからの時代の変化を、政策、経済、社会、技術、社会課題、価値観の変化などから定量的・定性的に把握し、分析し自社の企業価値を高める一手を探ります。

## プログラム

<休憩時間 12:00～13:00(予定)>

## 討議テーマ

### 1 環境変化への備えは充分か(未来の洞察)

- 1) マクロ～業界～当社～担当領域
- 2) 企業経営と社会課題の連動性
- 3) 「個の成長・組織の活性化・組織の社会性」を考える

### 2 組織のチャレンジ精神を駆り立たせているか

- 1) ミッション・ビジョンの共有化と目標・計画の浸透をいかに進めるか  
**ケース研究1**
- 2) 知的機動力を備えた組織を支える仕組みは充分か
- 3) 働き方改革を実践化する意識・業務改革に遅れないか



### 3 メンバー・部下の「自律と成長」にコミットしているか

- 1) 事業や部門の使命・成果・計画の重要性  
**ケース研究2**
- 2) 課長の役割・使命は明確か
- 3) 課長・チームメンバーは成長と成果への実感をもっているか

**参加者情報交流会** (18:45～)

### 4 ステークホルダーとの協働視点に広がりはあるか

- 1) 社会課題解決と事業・業務の関連性を意識できるか
- 2) メタ・プロジェクトの視点からの事業・業務変革  
**ケース研究3**

### 5 3年後を見据えた自身のリーダー像は明確か

- 1) リーダーシップタイプ
- 2) マネジメントスタイル
- 3) 研磨すべき資質・能力と受容・発信



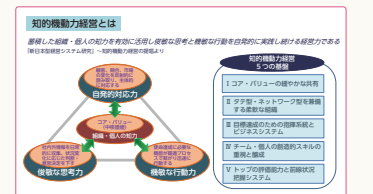
### ◆ 総括～課題対応の重要度と優先度は明確か

**研修のまとめシートの作成**

後日、講師からのコメントを一人ひとり記入して返却いたします。

マクロ環境動向、自社、担当事業・業務の  
課題を当事者としてどう受け止めるか。  
また、自社事業と社会課題との関連性  
なども検討します。

俊敏な思考と機敏な行動を自発的に  
実践し続ける「知的機動力経営5つの  
視点」を題材に、自社、担当業務領域で  
強化すべき仕組みやマネジメントの視点  
を考察、討議します。



メンバー・部下の「自律性と成長」を  
引き出し、醸成する組織づくりに必要な  
視点を再認識するとともに、自ら働き  
かけるべき行動計画を参加者間の経験  
交流も通じて検討します。

自社、担当事業・業務について、敢て  
スコープを広げ、社会課題との関係性や  
関係者との新しい協働視点の可能性に  
ついて研究します。

環境変化、自社、担当事業・業務の広がり  
を意識しつつ、今後の自身のリーダ  
ーシップのあり方を研究するとともに、  
具体的な意識・行動シナリオを重要度・  
優先度も含めて検討します。